

理学部生向け・海外留学の手引き 短期留学編

理学の研究には、英語の文献を読むことは勿論のこと、国際学会における英語論文執筆や英会話のスキルも欠かせないものとなっています。また、学部に限らず「在学中に一度くらい留学するのは当然・必須」という時代になっており、教育改革の結果、今では留学する高校生も増えています。

京都大学には、交換留学を始め、様々な短期留学の制度や費用の支援が用意されています。概要は入学時に配布される「海外留学の手引き」に記載されており、最新版はウェブ上から最新版をダウンロードすることもできます。http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/public/issue/ryugaku_tebiki

① 交換留学について

1. 募集の概要

全世界の100大学以上の協定校に、毎年約300名の京大生が留学することができます。留学できる協定校は、「海外留学の手引き」の中の「大学間学生交流協定一覧」に記載しています。募集は毎年2月頃と8月頃から行われ、4月と10月に締切日が設定されます。

- 第1期（4月）募集→翌年の1月から12月までの間に出発
- 第2期（10月）募集→翌年の7月から12月までの間に出発

一回生は第2期の募集から応募することができます。

募集が開始されるとKULASISの「留学情報」に掲載されます。各学部により締切日が異なります。学内選考には、TOEFLiBT68点またはIELTS5.5以上あれば応募できます。

TOEFLiBTもIELTSも締切日に間に合う日程で確実に受験申し込みすること、またIELTSの受験にはパスポートを取得していることが必須となりますのでご注意ください。

まず学内選考に合格した後、通常は留学開始の半年～3カ月前に、協定校に各自で出願します。

2. 留学期間

一学期以上一年間以内で、自由に設定できます。ただし各大学により学期の開始月が異なるので、募集要項の「大学間学生交流協定一覧」の表の「学年暦」見て、各自の都合に合う期間で留学できる大学を選んでください。なお交換留学中も休学はせず、京都大学に在籍したままとなります。

3. 留学する時期

何回生で留学するのが良いかということに関しては、それぞれの系や4回生で配属される研究室の方針によって異なります。たとえば、実験が中心となる系では、3～4回生が忙しくなるので、2回生の後期で留学する、つまり1回生の10月に応募するのが一番無難ということになります。一方、数学の系登録で試験を受けなければいけない場合は、2回生の後期に留学していると一時帰国を余儀なくされる場合もあります（単位数も十分で成績も抜群であれば心配ないかもしれませんが…）

興味のある方は、なるべく早めに留学支援室にご相談いただくと同時に、希望する系の教務委員の先生、あるいは将来研究室配属を希望している研究室の先生に、早めに相談されることをお勧めします。

3. 留学先の選び方

学生交流協定校はすべて各国のトップレベルの大学ですので、安心してご自身の興味のある留学先をお選びください。学業だけでなく、スポーツや趣味などの課外活動を目的として留学先を選ぶ方もあります。学内選考では第一希望と第二希望を申請しますが、後期の募集では第三希望での救済も可能です。それぞれの国や大学の情報収集に関しては留学支援室にお気軽にご相談ください。

4. 留学先で必要な語学について

留学期間のほか、協定校一覧の表にある「必要語学」のレベルが協定校への出願までに達成できそうかどうか判断してください。点数ではなく「B2」などと書いてある場合はCEFR(Common European Framework of Reference for Languages)の該当レベルを示します。入門レベルA1からビジネスレベルC2まであり、英語のB1～B2はほぼ英検準一級に相当します。

「必要語学」の欄に「英語」の記載のある大学は、英語で授業が受けられることを意味しており、大学内では英語さえできれば大丈夫です。特にヨーロッパ北部やアジア・中東の一部では日常生活でも問題なく英語が通じますので、英語圏の国に限定せず、幅広く検討するようにしてください。理学部生は毎年、ヨーロッパ各地、アジア、中東、オセアニアなど様々な国に留学しています。

TOEFLiBTはコンピューターなどの機械を使って受ける試験、IELTSは手書きと面接で受ける試験です。ご自分の得意なほうで受験しましょう。いずれも、過去問演習などの対策は必要です。

5. 留学費用について

留学中は京都大学の授業料を納めていただきますが、行き先の大学では授業料は徴収されません。渡航費と生活費のみ自己負担となりますが、一部の物価の高い国や大都市を除き、生活費は京都とほぼ同等と考えてください。また多くの理学部生は、文部科学省が提供するトビタテ奨学金をはじめ各種の給付型奨学金(月6万円～15万円程度、返済の必要無し)を得て留学しています。奨学金の応募は交換留学の応募とは全く別に各自で行うので、KULASISその他の募集情報に注意してください。

6. 留学中の取得単位について

留学中に履修した単位は、「理学部の卒業要件単位に相応しい」内容の科目であれば、留学前・留学中・留学後のいつでも単位認定(予定)を申請することができます。留学前と留学中に必要な単位を取得し、卒業を遅らせることなく交換留学する理学部生も少なくありません。一方、単位認定を気にしない場合は、理学とは関係ない科目を履修することも自由です。留学中に取得した単位はGPAに影響を与えないため、この機会を利用し、慣れない科目や難しい科目に挑戦することもできます。

7. 他の留学と比べた場合のメリット・デメリット

- 双方の大学が責任をもって派遣と受入をするので、安心である
- 理学部留学支援室が支援するので、留学エージェントのような事務代行手数料等が不要
- 短期英語研修と異なり、周りが日本人だらけ、京大生だらけという状況にならない
- 自分の興味のある科目を勉強できるので、むしろ語学が身につくやすい
- 追加授業料がかからない上、給付型奨学金(月額10万円前後)を得るチャンスまである
- × 応募から留学までに数ヶ月以上かかるので、早めの計画と準備が必要である
- × 学内選考で競争が発生した場合、第一志望に行かれない可能性がある

② その他の短期留学

1. 京都大学が募集する短期研修、インターンシップ

京都大学では、春休みや夏休みを利用した短期の語学研修も行っています。純粋な語学研修から、海外でのインターンなど、様々な企画があります。また京都大学には、学生が自ら企画した在外研究や海外でのチャレンジを支援する制度があります。それらの内容は「海外留学の手引き」にも掲載されており、毎年の募集時期が来ると KULASIS に掲載されます。積極的に利用しましょう。

2. 海外の大学のインターンシップ、サマースクールなど（給費型）

- 京都大学ハイデルベルグ事務所が、ヨーロッパの大学のサマースクール情報を発信しています。費用の補助が出るものもあります。 <https://www.oc.kyoto-u.ac.jp/overseas-centers/eu/>
- 各分野の学会も学生向けのインターンシップ情報を発信しています。米国物理学会の一例 <https://www.aps.org/careers/employment/internships.cfm>
- 英語による研究ができる国内留学として、沖縄科学技術大学(OIST)のインターンシップは、交通費・生活費も支給され、学部生も応募できます。 <https://groups.oist.jp/ja/grad/research-interns>
- 内閣府主催の青年海外渡航プログラム <https://www8.cao.go.jp/youth/kouryu/bosyu-new.html>
- 夏のインターンシップは例年1～4月頃に締切がくるので、早めに準備しましょう。

3. ワーキングホリデー、ピースポート、英語圏大学のサマースクール、語学研修など（私費型）

京都大学には様々な留学支援制度があるので、所属学生ならまずはそれを利用することをお勧めします。大学他にも海外渡航の機会は様々ありますが、そのほとんどは多額の費用がかかり、中には詐欺まがいの危険なものもあります。下記を十分に頭に入れた上で、自己責任で選択してください。

- ワーキングホリデーで生活できるほどの収入が得られることはほとんど無い。
- ワーキングホリデーで単純労働以外の仕事につけるのは、ビジネスレベルの語学力がある人のみ。
- 高い費用を支払ってエージェントに頼まなくても、大学のサマースクールや語学研修のほとんどは自分で直接応募できる。自分で応募するのが不安なようでは、現地で暮らすのはもっと不安。
- 民間のエージェントや斡旋業者の数はあまりにも多く、その全てを把握することは不可能です。したがって、これらの私費留学に関しては、留学支援室で相談に乗ることができません。

留学支援室での相談について

留学や語学学習だけでなく、国際交流一般や異文化理解に関する相談も受け付けています。簡単な質問ならメールでいつでもお受けします。通常メールには一両日中に返信しますが、もし返事が無かったら催促してください。個人面談は通常、月火金の2～5限の時間帯（昼休みも可）に行なっています。氏名・所属・希望日時（第1～3）、相談内容の概要を書いて、メールで予約してください。

担当者：鈴木あるの（講師）、J

場所：理学部6号館南棟2階（206号室）留学支援室 ※相談室の隣

開室時間：平日 10:30～18:00（授業や会議で外出が多いため予約制となっています）

メールアドレス：suzuki.arno.2c@kyoto-u.ac.jp

電話番号：075 - 753 - 3641